

第十六場 忍術学園(朝)

一景 武器総点検

SE【鶏コケッコー】 映像【朝の忍術学園の背景】

《照明イン》《小道具持つて登場。武器の手入れや準備などをする。

5

潮江文次郎 「さあ！武器の総点検だ！」

食満留三郎 「用具の手入れも怠るな！」

全員 「(それぞれに返事)」

10

潮江文次郎 「『武器の手入れを怠る者は①【軍の神様ポンポン】②【ハチに刺されてポンポン】③【ぶつきら棒に武器壊す】』と言う言葉を肝に銘じるんだ！」

平滝夜叉丸 「誰の言葉ですか？」

潮江文次郎 「彼の有名な、潮江文次郎様だ！」

平滝夜叉丸 「(素っ気なく)はい」

曇鬼 「仙蔵、悪いが、君のあの決め台詞、一回聞かせて貰えないかな？」

15

立花仙蔵 「なんだ急に」

曇鬼 「いや俺も自分の決め台詞を考えていて、参考にしたいと思ってさ」

立花仙蔵 「いいだろう。(回し蹴り等の動き) 『完璧だ』 SE【キラーン】

曇鬼 「違うな。何か偉そうなんだよ。こうやってみな、完璧です SE【キラーン】

立花仙蔵 「完璧です！見てないじゃないかッ！」

20

二景 学園長と八方斎 《照明上段》 学園長と八方斎が立つ。

八方斎 「学園長、いよいよ戦いの日が近づいて参りましたな」

学園長 「そのようですね」

八方齋 「忍術学園での共同生活によって、我々の距離は縮まりましたか」
学園長 「もちろんです。同じ釜の飯を食い、互いを知り、認め合おうとしています」
八方齋 「実に美しいですね」
学園長 「はい。争いのない世の中なら、尚美しい」
八方齋 「そんな世の中が、果たしてきますかな？」
学園長 「期待したいですね」

三景 は組と俊・曇鬼

《照明中段に》は組が俊鬼の怪我の治療をしている。

10 小道具【救急箱。虎の顔が描かれた革製三角巾】
薬小道具【お盆、急須、湯飲み、（木製）すり鉢、すりこぎ棒、半紙】

善法寺伊作 「さあ俊鬼さん、まず薬飲みましょう」

俊鬼 「また苦いの飲むの？」

曇鬼 「俊鬼、子供みたいな事言うなよ」

15 善法寺伊作 「大丈夫、今度は飲みやすいように柚ゆずの皮を調合したんです。乱太郎、白湯さゆを注いで」
乱太郎 「はい」

齊藤タカ丸 「俊鬼さん、薬を飲み終えたら、包帯をこれに変えましょう」

俊鬼 「何、それ？」

20 齊藤タカ丸 「革で作った三角巾です。用具委員の食満くんに相談して、みんなで作ったんだ」
食満留三郎 「武器で使用する革だから、厚みがあつて丈夫だ」

曇鬼 「で、その虎は？」

善法寺伊作 「絵が得意な乱太郎が書きました」

曇鬼 「めっちゃめっちゃ上手いじゃないッ！」

乱太郎 「ガオッ！（曇鬼に懐く）」

25 は組 「（和やかに笑う）」

俊鬼 「あつたかいね、は組」

【四景 潮江と平と土井】《照明中段下手踊場》（木製）大きめのすり鉢、に木製お玉。巾着袋。

5 潮江文次郎 「滝夜叉丸！巾着袋しつかり持つておけよ！」

土井半助 「吸い込むと、むせるから、息を止めなさい！」

平滝夜叉丸 「はい。でもなんですかコレ!? スゴいニオイです！」

潮江文次郎 「土井先生が考案した、ギンギンパウダーだッ！」

平滝夜叉丸 「ギンギンパウダー!?」

10 土井半助 「漆喰しっくいにワサビを混ぜて粉にした」

平滝夜叉丸 「何に使うんですか!？」

潮江文次郎 「敵を撃退する秘策の粉だ」

平滝夜叉丸 「どうやって・・・」

土井半助 「いいから、息を止めなさい！」

15

【五景 ろ組と竜鬼としんべエ】《照明下段上手》小さい木箱に入った八方手裏剣を布で磨く。

浜守一郎 「いいかしんべエ。手裏剣は刃先で怪我をしないよう、必ず布にくるんで磨くこと」

しんべエ 「はい！分かりました」

20 田村三木エ門 「（あくび）」

七松小平太 「どうした三木エ門、朝から大あくびして」

田村三木エ門 「すみません！」

竜鬼 「三木エ門、最近眠れないんじゃない?」

七松小平太 「そうなのか!?(寝る)」

25 田村三木エ門 「はい、カエンタケとの戦いを考えていると、目が冴えてしまつて」

竜鬼 「実は、俺もそうなんだ」

七松小平太 「(いびき)・・・そうなのか」

田村三木エ門 「いいなあ、どこでも寝られる人は」

中在家長次 「眠れない時は本を読めばいい」

5 田村三木エ門 「ええッ!？」

中在家長次 「それも難しくってつまらない本を。お勧めの本は、『昔こひの種類と育て方』

しんべエ 「僕は教科書読んできると眠くなります」

ろ組 「(和やかに笑う)」

中在家長次 「竜鬼、三木エ門、睡眠取らずして戦は出来ぬ」

10 田村三木エ門 「はい」

竜鬼 「中在家くん、その本貸してくれないか？」

中在家長次 「よかろう」

15 六景 仙蔵と綾部と来鬼と きり丸 《下段下手》さる2つ。ピンポン球大の宝禄火矢多数。

綾部喜八郎 「どうだ、きり丸」

きり丸 「綾部先輩、小型の宝禄火矢、全部和紙で包みました」

綾部喜八郎 「早いな」

きり丸 「内職みたいなもんですから」

20 来鬼 「きり丸、出来た。投げるぞ(きり丸に投げる)」

い組・きり丸 「(驚く)うわあッ!」

きり丸 「来鬼さん、爆発します!」

来鬼 「大げさだなあ!？」

立花仙蔵 「これは、小さな衝撃でも爆発する、特殊な投げ焙烙だ」

25 来鬼 「仙ちゃん、こんなちっちゃいんだから大丈夫っすよ。ほら(仙蔵に高く投げる)」

い組・きり丸 「(驚く)うわあッ！」

立花仙蔵 「(キヤツチ)バカッ!、もうバカバカバカッ！」

来鬼 「だから大げさだつて」

きり丸 「では見ててください! (客席に向かって投げる)そりゃッ!」(マイムで投げる)

5 立花仙蔵 「危ない!」

SE【シューン+大爆発】 映像【大爆発】

立花仙蔵 「怪我はないか?」

10 来鬼 「仙ちゃん、あざすッ!」

七景 山田先生と達魔鬼 《照明中段下手踊場》小道具…長方形の大きめの布。

山田先生 「せーの! なせこちに畳む!」

15 達魔鬼 「なせつて、こっちの方がやりやすかつたから」

山田先生 「私がこう持つてるんだから、そっちだろう」

達魔鬼 「分かりました、じゃいきますよ。せーの!」

山田先生 「達魔鬼! わざとか!」

達魔鬼 「だつて今、伝蔵がこつちにしてつて言ったから」

20 山田先生 「なぜ私を伝蔵と呼ぶ」

達魔鬼 「面倒くせえ」

八景 潮江と平と土井

25 潮江文次郎 「よし、出来上がりだ」

平滝夜叉丸 「はい」

潮江文次郎 「土井先生、ありがとうございます」

平滝夜叉丸 「ありがとうございます」

土井半助 「いや礼を言うのは私の方だ。文次郎、みんなをまとめてくれてありがとうございます。

私の過去について・・・」

潮江文次郎 「(さえぎって)土井先生、土井先生に何があるうと、私たちにとつて、土井先生は

土井先生です」

平滝夜叉丸 「これからもご指導」

平・潮江 「よろしくお願いします！」

10 土井先生 「・ありがとうございます！」

潮江文次郎 「お前が仕切るな！よし、仲間に配るぞ」

平滝夜叉丸 「はい！」

九景 は組と俊・曇鬼 《照明中段に》

15

善法寺伊作 「俊鬼さん、似合ってますよ！」

俊鬼 「伊作君、みんな、ありがとな。おい、みんな見てくれよ！」

【照明】舞台全体が明るくなる

20

俊鬼 「スゴいだろう、これ！(三角巾を見せる)伊作君たちが作ってくれたんだ！」

善法寺伊作 「俊鬼さん、僕のことば伊作って呼んでください。仲間ですから」

俊鬼 「そだな。じゃ、オイラも俊鬼って呼んでくれ」

善法寺伊作 「はい。しゅんぎ」

25

俊鬼 「いやく」

- 竜・来・曇 「おおーッ」
 俊鬼 「何だか、小つ恥ずかしいなあ」
 乱太郎 「しゅんき」
 俊鬼 「らんたろう」
 5 竜・来・曇 「おおーッ」
 食満留三郎 「しゅんき」
 俊鬼 「股八郎」
 食満留三郎 「誰!？」
 全員 「あゝ」
 10 竜鬼 「伊作、俺たちの名前は覚えてたか!？」
 善法寺伊作 「もちろん!せーの!」
 忍術学園 「八方斎!達魔鬼!竜鬼!来鬼!」
 善法寺伊作 「そして!」
 食満留三郎 「モンキー」
 15 曇鬼 「猿かッ!曇鬼だよ曇鬼」
 乱太郎 「ウツキー」
 曇鬼 「らんたろうッ!」
 全員 「(和やかに笑う)」

M10 名前を呼ぼう！

善法寺伊作・カンパニー

善法寺(アカペラ) 名前を呼ぼう 君の名前を ㊦

5 間奏5小節。

善法寺伊作

名前は不思議なおまじない

呼び合えば ほら！心が通う

すぐ友だちさ

ほくらは もう仲間さ

10

〈善法寺伊作〉

呼び合えば きつと

15

ほくらは

名前を呼ぼう 君の名前を

20

名前を呼ぼう 心を込めて

世界に一つの 君だけの名を

間奏7小節。

〈ドク・食・乱〉

名前は不思議なおまじない

呼び合えば きつと分かり合えるさ

〈食満・俊鬼〉

照れくさいけど

〈ドク・食・乱〉

そう仲間さ

君が笑えば みんなも笑う

心込めて

世界に一つの 君だけの名を

《下段照明イン》

〈善法寺伊作〉

5

耳を澄ませば 聞こえるよ
誰かが君を呼んでる
誰かが君を待っている
誰かが君を

〈善法寺十グループA〉

10

名前を呼ぼう 君の名前を
名前を呼ぼう 仲間を呼ぼう
名前を呼ぼう 君の名前を
名前を呼ぼう 心を込めて

20

世界に一つの 君だけの名を
Ah | La La La La La La
Ah | Ah | Ah | Ah |

〈全員〉（善法寺以外）

耳を澄ませば
聞こえるよ
誰かが君を

〈グループB〉

君と僕とが はぐれないよう
仲間呼ぼう
君が笑えば みんなも笑う
心込めて

世界に一つの 君だけの名を

Ah | La La La La La La
Ah | Ah | Ah | Ah |

〈グループC〉

〈土井・山田・達魔鬼〉
Ah | La La La La La La
Ah | La La La La La La
Ah | La La La La La La

〈中在家・七松〉

全員集合してM10終了。